

主要事業評価シート(第2次実施計画/R1・2・3年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	産業環境部
	19011	畜産競争力強化対策整備事業	課名	農林振興課 農林政策G
	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上	財務科目	01:一般会計
	基本施策	03:農林業の振興		06:農林水産業費
	施策の方向	02:農業経営の安定化		01:農林水産業費
戦略プロジェクト	-	04:畜産業費		
事業予定期間	R 2 ~ R 6 年度	主な根拠法令要綱等	畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業実施要綱	

② 目的・概要	対象	四日市ポーククラスター協議会
	目的	四日市ポーククラスター協議会が地域一体となって畜産の収益性の向上を図るために策定した畜産クラスター計画に基づき、中心的な経営体を実施する、飼養規模の拡大、飼養管理の改善及び畜産環境保全への対応を支援することを目的とする。
概要		協議会の中心的な経営体が、飼養規模の拡大、飼養管理の改善及び畜産環境保全への対応を目的として行う畜舎の増設に伴い整備する離乳舎、肥育舎、浄化処理建設などに要する費用に対し、四日市ポーククラスター協議会を通して財政的支援を行う。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
③ 事業の計画・実績	年度計画		○畜産施設等整備事業費補助金の交付 補助率:1/2 (国 10/10)	○畜産施設等整備事業費補助金の交付 補助率:1/2 (国 10/10)
	年度実績		○畜産施設等整備事業費補助金の交付 補助率:1/2 (国 10/10)	○畜産施設等整備事業費補助金の交付 1件 補助率:1/2 (国 10/10)
事業額	計画額	事業費	65,600千円	109,900千円
		国庫支出金		
		県支出金	65,600千円	109,900千円
		地方債		
		その他		
	一般財源	0千円	0千円	
	予算額	事業費	66,260千円	118,625千円
		国庫支出金		
		県支出金	66,260千円	118,625千円
		地方債		
		その他		
	一般財源	0千円	0千円	
	決算額	事業費 ①	55,821千円	117,160千円
		国庫支出金		
		県支出金	55,821千円	117,160千円
地方債				
その他				
一般財源	0千円	0千円		
人件費	総人件費 ②	0千円	7,839千円	2,371千円
	一般職員	0千円	7,839千円	2,371千円
	所要人員		1.00	0.30
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円
総コスト(①+②)		0千円	63,660千円	119,531千円
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%

				令和元年度	令和2年度	令和3年度
④ 指標	①	名称	補助金交付件数	計画値		1
			離乳舎建設	実績値		1
				単位		件
	②	名称	補助金交付件数	計画値		1
			肥育舎2棟、浄化処理施設建設	実績値		1
				単位		件
	③	名称		計画値		
				実績値		
				単位		

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 地域ぐるみでの高収益型の畜産の実現及び酪農・畜産の維持のためには持続的な支援が必要であり、今後も三重県をはじめとする関係機関と連携し、必要な支援を展開していく必要がある。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 三重県をはじめとする関係機関との情報共有、連携により支援を行った。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 飼養規模の拡大、飼養管理の改善及び畜産環境保全への対応を目的として行った畜舎の増設に伴い、建設された肥育舎(2棟)、浄化処理施設に要した費用に対し補助金を交付した。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 衛生的で収益性が高く、地域への環境負荷が少ない地域的モデル的な養豚経営の実現に繋がった。	A 十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 地域ぐるみでの高収益型畜産の実現及び酪農・畜産の維持のためには継続的な支援が必要であり、三重県をはじめとする関係機関と連携し、必要に応じた支援を行っていく必要がある。	次期実施計画への方向性 <input type="checkbox"/> 継続（拡大） <input type="checkbox"/> 継続（現状維持） <input type="checkbox"/> 継続（縮小） <input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 三重県、地域畜産クラスター協議会、関係機関との情報共有を行い、適切な畜産事業の推進に取り組む。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 高収益型畜産の実現、酪農・畜産の維持・発展に繋がる。	
対応時期		-	

【1次評価者】	産業環境部 農林振興課 農林政策グループリーダー 葛西 裕二
【最終評価者】	産業環境部 農林振興課長 水越 洋光

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	/	/	/	A	A
	成果	/	/	/	A	A

■令和3年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		118,625 千円
内訳	令和2年度からの繰越額	千円
	令和3年度の最終予算額	118,625 千円
	令和4年度への繰越額	千円